

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全社会資本整備交付金)

平成 29年3月14日

計画の名称	矢巾町における防災・安全に関する下水道事業			重点配分対象の該当	-
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)	交付対象	矢巾町		
計画の目標	下水道整備を積極的にを行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な公共用水域を確保するとともに生活環境の整備を実現する。				

計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道による浸水対策達成率を72.51%(H27)から72.61%(H31)に増加させる ②耐用年数を経過した人孔鉄蓋の更新率を13%(H27)から48%(H31)に増加させる ③管渠の長寿命化計画の実施率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。				
-----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現状値及び目標値			備考		
	当初現状値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	上段:分子 下段:分母		
①下水道による浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)/浸水対策すべき面積(ha)	72.51%	72.56%	72.61%	147.2ha	147.3ha	147.4ha
②人孔鉄蓋の更新率 耐用年数を経過した人孔鉄蓋の更新枚数(枚)/耐用年数を経過した人孔鉄蓋の枚数(枚)	13%	30%	48%	203ha	203ha	203ha
③管渠の長寿命化計画実施率 改築更新を実施した管渠延長(m)/改築更新を実施すべき管渠延長(m)	0%	50%	100%	91枚	210枚	337枚
				702枚	702枚	702枚
				0m	250m	500m
				500m	500m	500m

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	230百万円	A	230百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0%
-------	--------------	--------	---	--------	---	------	---	------	---	------	------------------------	----

交付対象事業

A 下水道事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考		
											H27	H28	H29	H30	H31						
都南処理区																					
A-1-1	下水道	一般	矢巾町	直接	-	雨水	新設	岩崎川右岸排水区枝線	L=1.2km	矢巾町						70	-	-			
A-1-2	下水道	一般	矢巾町	直接	-	汚水	改築	人孔鉄蓋・汚水管渠更新	長寿命化計画策定 L=12.0km	矢巾町						40	-	-	長寿命化計画		
A-1-3	下水道	一般	矢巾町	直接	-	汚水	改築	人孔鉄蓋更新	180箇所	矢巾町						50	-	-	策定済み		
A-1-4	下水道	一般	矢巾町	直接	-	汚水	改築	汚水管渠更新	更新工事 L=500m	矢巾町						70	-	-	策定済み		
合計														230							

B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考
										H27	H28	H29	H30	H31			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計											0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															

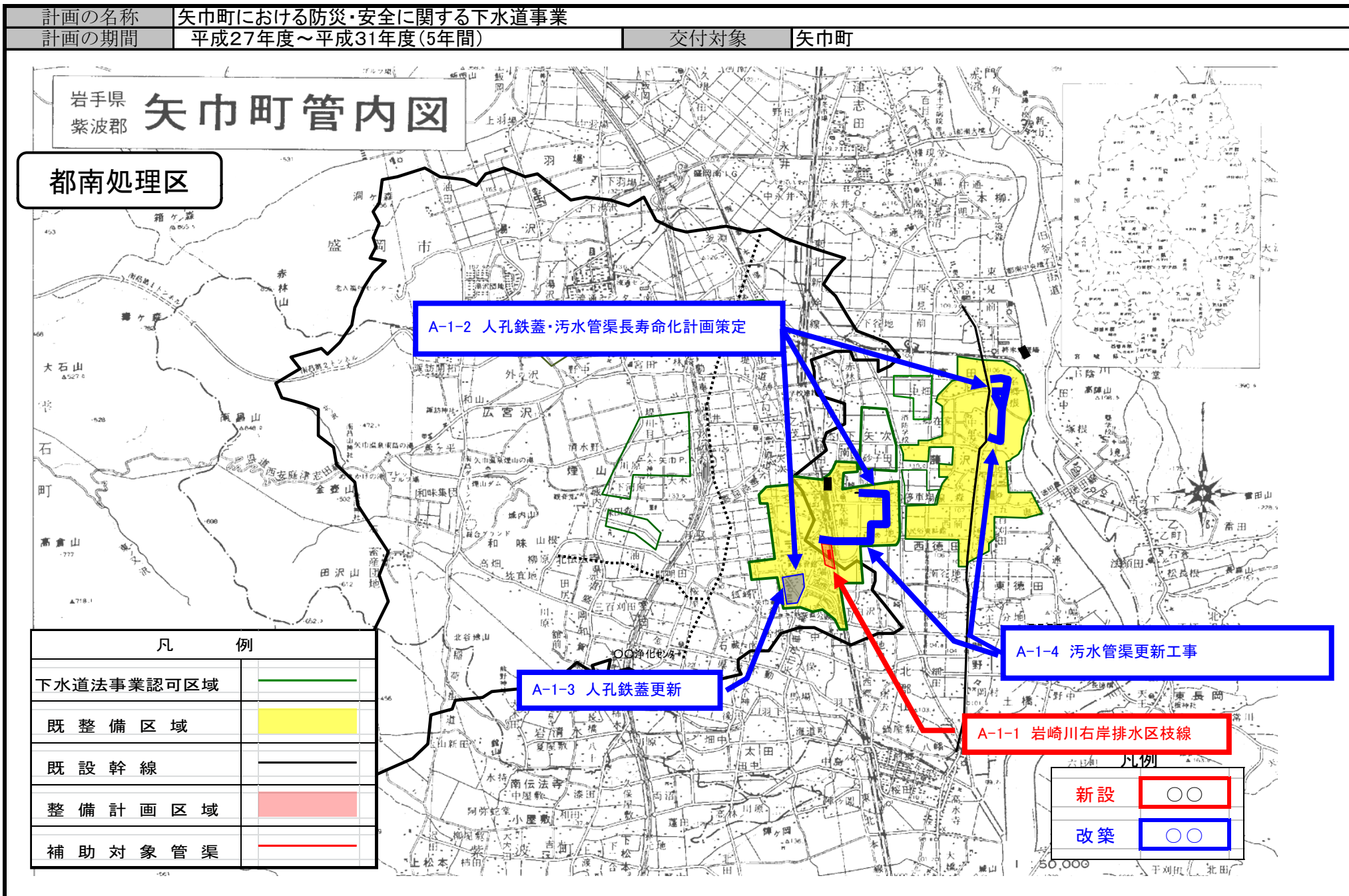
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	25.000	25.000	21.000	14.932	
計画別流用増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000	0.000	
交付額 (c=a+b)	25.000	25.000	21.000	14.932	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	12.837	0.000	0.000	
支払済額 (e)	12.163	37.837	21.000	14.932	
翌年度繰越額 (f)	12.837	0.000	0.000	0.000	
うち未契約繰越額 (g)	8.301	0.000	0.000	0.000	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	33.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との協議に時間を要したため				

(参考様式3) (参考図面)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業タイプ)

計画の名称: 矢巾町における総合的な下水道事業の推進

市町村名: 矢巾町

チェック欄

I. 目標の妥当性

①上位計画との適合等

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 都道府県構想(見直し予定を含む)に適合している。 | ○ |
| 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。(流域関連公共下水道のみ) | ○ |
| 3) 市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。 | ○ |

②目標値および内容の妥当性

- | | |
|---|---|
| 1) 計画人口は適正な数値となっている。(人口普及率等を目標とした場合) | ○ |
| 2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。
該当するものに○
◎ 施設の長寿命化対策
・合流改善
・浸水対策
・処理場の増設
・汚泥処理施設
・地震対策 | — |

II. 整備計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 | ○ |
| 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 | ○ |
| 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 | ○ |
| 4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。 | ○ |
| 5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。 | ○ |

④事業の効果

- | | |
|--|---|
| 1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。 | ○ |
| 2) 河川等の水質改善に効果がある。 | ○ |
| 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。 | ○ |

III. 整備計画の実現可能性

⑤計画の具体性

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。 | ○ |
| 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。 | ○ |
| 3) 継続的な汚水処理(雨水処理)の展開が見込まれる。 | ○ |
| 4) 地域の実状に応じた計画になっている。 | ○ |

⑥円滑な事業執行の環境

- | | |
|-------------------------|---|
| 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 | ○ |
| 2) 事業実施のための環境整備が図られている。 | ○ |
| 3) 下水道法の事業認可を取得している。 | ○ |